

「令和5年度 新鮮いわて農業チャレンジ体験研修レポート (No.18)」

■ 研修時期・研修先

時期:令和5年11月24日～26日(3日間)

研修先:株式会社いわき農園(山田町)

■ 研修生について

将来、主にピーマンでの新規就農を考えるTさんは、宮古農業改良普及センターとの相談の中で、当社の体験研修の参加を勧められたことから、今回の実施となりました。

■ 研修先の概要

ハウス44a(30棟)・露地100aで、ほうれん草、ブロッコリー、人参外8品目。今年から露地ピーマンの作付を始め、道の駅山田などの産直でも販売しています。

岩城代表は、2年間のオーストラリア生活を経て食の大切さを痛感し、農業を志しました。2年間の研修後、平成23年にいわき農園を開園。

農薬・化学肥料不使用、硝酸態窒素の低減、ミネラル豊富な土づくりを基本に栽培しています。

【HP】<https://ameblo.jp/h-iwaki/>

【FB】<https://www.facebook.com/iwaki.farm/>

■ 研修の内容

- ・ 人参・ほうれん草・春菊の収穫・出荷調製、トンネル設置、ピーマン畑見学、産直への配達及び座学(農業の基本用語・基礎知識、土づくり、流通)を研修しました。
- ・ 「1年単位の研修を受け、栽培技術を身に付けた方が良いと思うし、研修を受けながら、自分のやりたい農業を見つけた方が良いのでは。」とのアドバイスが代表よりありました。

■ 研修の感想

- ・ 野菜の作業はやったことがなかったので、作業の感じが掴めて良かった。
- ・ ほうれん草の収穫・出荷調製をやってみました。栽培もしてみたいと思いました。
- ・ 研修先の有機栽培や環境問題を意識した取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・ 座学では、基本用語(1反=10a=1,000㎡など)・基礎知識(2aハウス=間口4間×15間、1間は1.8mなど)の基本的なことから教えていただいたこと。有機栽培には、土づくりが非常に大切であることが勉強になりました。



■ 今後の目標等

農業改良普及センターで来年の研修先を探していただき、研修を重ねたいと思います。

